


【件名】	新中川護岸耐震補強工事（その12）	【事務所名】	江東治水事務所	
【工事場所】	東京都江戸川区西小岩一丁目地内から同区西小岩二丁目地内まで	【受注者名】	若築建設株式会社	
【工期】	令和3年10月14日から令和5年2月24日まで	【主たる技術者名】	監理技術者 日笠山 大士	

【工事概要】

本工事は、「東部低地帯の河川施設整備計画(平成24年12月)」に基づき、想定し得る最大級の地震が発生した場合においても堤防の機能を保持し浸水を防止するために、新中川（上一色橋上下流左岸、施工延長406m）において「地盤改良工による護岸の耐震補強」を行ったものである。

【表彰理由】（※発注者側評価）

本工事においては、発注後の近隣町会及び江戸川区との協議により、作業時間及び作業区域が制限されたが、受注者が施工計画の見直し（施工機械の増設、作業区域の分割施工等）を行い、工事一時中止を回避するだけでなく、工期内竣工（2ヶ月前倒し）を実現させた。



施工前（地盤改良前）



施工後（地盤改良後）

【受注者の声】

◇ 苦労した点

慢性的に交通量の多い供用中の都道蔵前橋通りを挟んだ上下流での地盤改良工（高圧噴射攪拌工）を施工する工事であったことから、施工中に直近を通行する自動車や自転車、歩行者に対し、排泥噴発に伴う第三者災害の防止対策に苦慮しました。

◇ 特に工夫した点

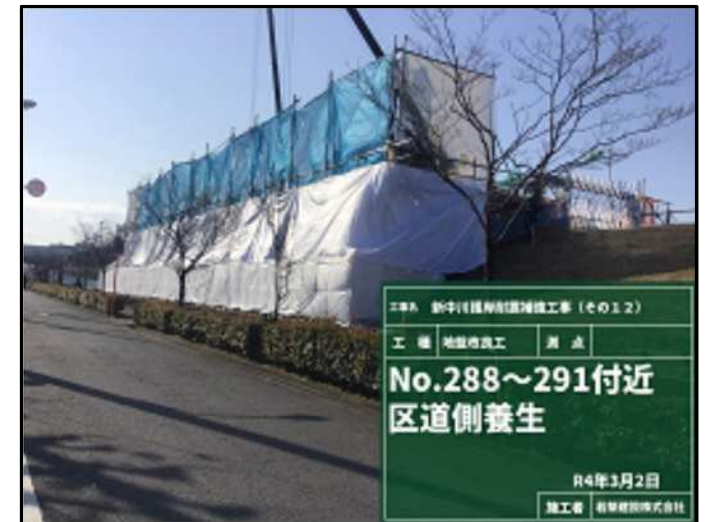
地盤改良工の施工に伴い発生する排泥を場外に1滴たりとも流出させないことを目標に、既設構造物の取り合いから施工機械の配置を工夫したり、施工基面からの高さを考慮した防砂シートを設置する等、様々な場外流出防止対策を実施しました。

◇ 現場で得られたやりがいや達成感

作業員各々が危険予知し関係者に周知し先回りして対策を講じることで、当初より目標としていた第三者災害を防止することができた上、誰一人として怪我することなく安全に施工でき、その結果ゼロ災を達成しました。達成感はこれに尽きます。

◇ 建設業の将来を担う若手技術者や学生に対し伝えたいこと

建設業の中でも特に河川工事については、東京都民の生命と財産を守ることを目的とした責任重大な仕事です。私たちの使命と、その中での自分達の役割を常に意識し、責任感と誇りを持ってベストを尽くして仕事に取り組んでいただきたいと思います。



防砂シート等を使用した排泥流出防止対策